

今回は、「人とお金」齊藤一人さんから紹介します

世の中には、「いい人」と呼ばれる人がいます。やさしくて、どんな人にも親切で、困った人を見ると放っておけない人。愛のある、すばらしい人です。ところが、こういう人たちが、すべて成功しているかという、残念なことに違うのです。これには、神さまからのメッセージがあります。それは、「いい人の部分は大事にしながら、さらに学ばなければいけないことがあるよ」ということです。

では、さらに学ばなければいけないことは何でしょうか？それは二つあります。

ひとつは「お金のこと（経済）」です。いい人なのに、お金が入ってこない…というのは、あなたが「よかれと思ってやっている何かが、まちがっている」ということです。あと、ひとつ、学ぶべきことは「人間関係」です。「いい人」は、やさしいので、すべての人にやさしくすることがいいことだと思っています。でも、そうではないのです。あなたのエネルギーを奪っていくような人や、あなたをなめてかかるような人にまで、やさしくしてはいけません。自分が嫌われないように、「ビクビクした波動」を出すこともありません。あなたと波長の合う人とだけ、楽しくやっていけばいいのです。

実は、「いい人」こそ、成功して豊かにならなければいけないと私は思っています。なぜなら、「いい人」のところにお金が集まれば、「いいこと」にお金を使うからです。「ろくでもない人」のところにお金が集まれば、「ろくでもないこと」にお金を使うでしょう。また、お金がなければ、愛する人が困ったときに、助けてあげることができません。「お金（経済）に強くなる」ために、最初にしなければいけないことは何でしょうか？それは、「赤字」を出さないことです。いままで貯金をしたことがない人は、いままでより少ない金額でやりくりする工夫をして、月に1万でも、2万でも、貯めていく。それができれば合格です。それだけを心がけていけばいいのです。

この「マイナスをつくらないこと」は、商売や仕事をやるうえでも、もっとも大切なことです。商売や仕事で使うお金のことを「出金」といいます。この「出金」を、最初から、できるかぎり減らすことです。「儲け」を出す前に、商売道具にお金をかけてしまうことは、一番やってはいけないことですからね。

今年 10 月、伊勢神宮では 20 年に 1 度の御遷宮が行なわれた。約 1300 年にわたって営々と続けられている行事で、今年は 62 回目の式年遷宮となる。東の御敷地から、西の御敷地に遷（うつ）られたが、それを米座（こめくら）から、金座（かねくら）に御遷りになった、という言い伝えがあるそうだ。米座の時代は、平和で心豊かな「精神の時代」で、金座の時代は、動乱と激動の「経済の時代」。いよいよ、これからの時代は、精神だけでなく、誰もが経済やお金を学ばなければならない時代に入ったようだ。「入るを量（はか）りて出づるを為す」という言葉がある。収入がどれくらいあるかを計算し、それに釣り合った出費をすることを言う。

「お金の基本は、まず赤字を出さないこと」いい人であればあるほど、お金の勉強は必要だ。

Q1：いい人が学ばなければいけない二つの事は何ですか？

A1：（ ）

Q2：お金に関して学んでいる事・実践している事・気をつけている事はありますか？

A2：（ ）